
3つの詩 [ウタ]

葵 景子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

3つの詩「ウタ」

【著者名】

Z8937A

【作者名】

葵 景子

【あらすじ】

初の詩です。とにかく、詩なので、読んでくれたら幸いです。

景子、初めての詩です。

これを書いてるときに、昔小学校でやった詩の授業を思い出します。

まだまだ未熟なので、気に入らないかも知れませんが、読んでやってください。

これを、唄のよしにしてくれたら、感激です。

葵 景子

ささやかな未来が

ある事を信じて

それだけで

歩いてきた

今はもう

会えないけれど

いつか君が言つた

あのことを思い出しても

ああ、これは

もつ、何もなきれど

今でも僕は

君を待つているよ

今度は

僕が君に云えるよ

あの頃の

甘酸っぱい気持ち

キミハナ

花が咲いたよ
小さくて
白い花
その名前を僕は
まだ知らないけれど
君が唄うよ
真夏の陰りを
避けながら
僕を
見惚れさすように
くるくる廻つて
踊る

さあ、ここからは
誰も知らない世界
僕が君を作る
今ここからは
僕にとって
大切な
君との時間

LIKE YOU

一番好きなのは
ホントは知ってるんだよ
あたしでもない
『愛』ですらない
じゃああなたは
いつたい
何が好きなの
そんな事を

考えでは日が暮れる

たまには
旅にいこう
あなたを
忘れないために
ゆっくりと
吸い込んだ
今年初の秋の香り

すぐのでも
旅によう
あなたに
近付けるよつに
すぐのでも
幸運は
あたしの中を
駆け巡りまくつてく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8937a/>

3つの詩 [ウタ]

2010年11月28日09時12分発行